

現代の研究・教育・社会に相応しい放射線・放射性核種等の安全利用検討会
(分子イメージングに関する教育プログラム) 実施要領

1. 目的及び経緯

利用拡大が期待されている放射線利用技術を使用しようとする研究者、技術者又は放射線安全管理担当者に対して、利用者目線にたった実践的な安全利用方法を開発することを目的として、講演と実習を組み合わせた本検討会を開催します。

本検討会は、原子力規制委員会の令和元年度放射線対策委託費（放射線安全規制研究戦略的推進事業費）「健全な放射線防護の実現のためのアイソトープ総合センターをベースとした放射線教育と安全管理ネットワーク」の事業として、前年度まで開催されていた「分子イメージングに関する教育研修プログラム」（主催：国立アイソトープ総合センター会議 (<http://ricenters.umin.jp>)) を基に、分子イメージングに限らない将来的に増々利用拡大が期待される放射線利用技術に対する実践的な安全管理の向上を目指した人材育成及びそれらの普及を図ることを目的として、さらに発展させたものとして実施します。令和元年度は金沢大学が担当校となり、金沢大学学際科学実験センター・アイソトープ総合研究施設にて参加申込みを受け付けます。

2. 参加対象者及び実施概要

今回の検討会の参加対象者は利用拡大が期待される RI を用いた分子イメージングの教育研究に携わる、あるいは携わる予定のある研究者、技術者、安全管理担当者です。実施概要としては、短寿命アルファ核種を用いたがん治療に関する最新の研究の講演、短半減期放射性核種（SPECT 核種をいう。）で標識した放射性薬品等の安全取扱及び動物実験時の動物等の安全取扱を参加者が実際に実施、及び参加者間での情報交流を通して、短半減期核種をより安全に利用する技術について参加者間での討論を予定しています。

3. 主催

金沢大学学際科学実験センター・アイソトープ総合研究施設

4. 期間及び会場

期間：令和元年9月19日（木）～20日（金）

会場：金沢大学学際科学実験センター・アイソトープ総合研究施設

小動物実験室及び分子イメージング室他

情報交換会：4,000円（会場：未定）

5. 内容

1) 講演・講義

放射線障害予防規程

短寿命 α 核種によるがん治療

2) 実習・討論

動物実験練習（静脈投与法）

[¹²³I]FP-CIT を用いた SPECT/CT ドーパミントランスポートイメージング(実習)

フリーソフトを用いた SPECT/CT 画像の解析（実習）

実習に基づく安全な実験法及び管理法に関する質疑・討論

6. 参加資格

参加申込時点までに所属機関等において放射線業務従事者として登録されていること。パソコンを用いた実習を行いますので、ノート型パソコンを持参してください。

7. 参加定員

約10名

8. 申込及び決定

(1) 申込

各大学（機関）又は企業の長は、希望者を別紙様式（1，2）により令和元年7月26日（木）（必着）までに、金沢大学学際科学実験センター・アイソトープ総合研究施設長に推薦してください。（2名以上の場合は、優先順位を付すること）なお、希望者がいない場合は回答の必要はありません。

(2) 参加者の決定

金沢大学学際科学実験センター・アイソトープ総合研究施設長は、前項により推薦された者の中から、協議の上参加者を決定し、参加申込者の所属機関の長に通知いたします。

9. 経費

参加費は無料です。旅費、宿泊費は原子力規制委員会の令和元年度放射線対策委託費（放射線安全規制研究戦略的推進事業費）から金沢大学の規定に従って金沢大学学際科学実験センター・アイソトープ総合研究施設が負担します。

10. 連絡先・申込先

金沢大学学際科学実験センター・アイソトープ総合研究施設

〒920-8640

金沢市宝町13-1

電話：076-265-2471

FAX：076-234-4245

E-mail：k-ric@med.kanazawa-u.ac.jp

申込書は金沢大学学際科学実験センター・アイソトープ総合研究施設ホームページ（<http://ri-center.w3.kanazawa-u.ac.jp/>）からもダウンロード可能です。